

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和2年度

めざす姿	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”
施策名	3 市民が自己実現をめざせる環境づくり
施策関係課	(市長室)政策審議室/(市民生活部)自治振興課/(経済部)グリーンセンター/(教育総務部)生涯学習課・文化推進室・中央図書館・科学館・スポーツ課

●施策の基本方針(目標)

自己実現をめざす市民の多様な学習・活動意欲の高まりに対応するため、さまざまな支援を行い、一人ひとりの個性や魅力を伸ばす環境をつくります。

●目標指標

指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%	指標の種別	成果
	目標値	現状値を上回る(令和2年度)		現状値	32.7(平成27年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	32.7	34.6	29.3	32.2	34.4		
指標②	名称	生涯学習施設*の利用者数 (*公民館等、図書館、科学館、スポーツ施設)			単位	人	指標の種別	結果
	目標値	6,953,000(令和2年度)		現状値	6,492,941(平成26年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	6,888,325	6,694,045	6,685,118	6,226,969	3,245,590		
指標③	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							
指標④	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							
指標⑤	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							

	(単位:千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度決算額	令和2年度決算額
事業額	事業費	1,980,553	2,950,080	3,411,014	3,067,928	2,339,310
	概算人件費	579,702	733,476	751,153	741,977	758,725
	総事業費	2,560,255	3,683,556	4,162,167	3,809,905	3,098,035

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 53	単位施策② 52	単位施策③ 50	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			51.7	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和2年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

① 生涯学習活動の支援									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度の総評価	令和3年度の実施方向性
			事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23100153	新郷南公民館耐震改修事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部 生涯学習課	4,662 0	24,107 2,652	112,274 2,686	— —	— —	—	—
23100301	社会教育活動運営事業	教育総務部 生涯学習課	2,066 410	2,022 390	2,098 395	1,993 395	2,157 395	56	現状維持 で実施
23100401	施設予約システム事業 (令和2年度休止)	教育総務部 生涯学習課	7,395 4,100	— —	— —	— —	— —	—	—
23100901	社会教育団体補助事業	教育総務部 生涯学習課	1,195 164	1,195 156	1,145 158	1,145 158	1,102 158	46	現状維持 で実施
23101001	公民館施設運営費	教育総務部 生涯学習課	163,417 5,084	171,486 257,400	99,301 260,700	94,932 260,700	69,436 260,700	52	現状維持 で実施
23101101	中央ふれあい館 施設運営費	教育総務部 生涯学習課	913 23,800	731 29,190	8,853 31,410	8,659 31,385	6,708 31,385	52	現状維持 で実施
23101201	生涯学習プラザ 施設運営費	教育総務部 生涯学習課	575 21,400	464 26,700	2,483 31,100	3,059 19,500	1,578 19,500	56	現状維持 で実施
23101301	青少年会館施設運営費 (平成28年度をもって完了)	教育総務部 生涯学習課	215 21,400	— —	— —	— —	— —	—	—
23101501	図書館施設運営費	教育総務部 中央図書館	410,613 287,000	408,576 273,000	431,851 276,500	488,417 276,500	509,684 276,500	58	現状維持 で実施
23101601	社会教育施設指定管理者 管理運営費 (平成30年度をもって完了)	教育総務部 中央図書館	68,915 820	68,915 780	68,915 790	— —	— —	—	—
23101701	科学展示施設運営費	教育総務部 科学館	41,742 24,764	41,119 22,152	41,443 20,856	41,575 18,565	42,049 18,170	49	現状維持 で実施
23101801	天文台施設運営費	教育総務部 科学館	721 11,972	804 11,154	732 11,613	808 12,561	474 12,561	54	現状維持 で実施
23101901	プラネタリウム 施設運営費	教育総務部 科学館	14,365 14,268	14,573 13,182	16,821 13,035	17,287 13,272	13,412 13,272	54	現状維持 で実施
23102001	特別企画事業費	教育総務部 科学館	11,738 8,118	9,047 7,878	9,285 7,426	6,983 7,110	680 6,794	53	現状維持 で実施
23102101	映像・情報メディアセンター 指定管理者管理運営費	教育総務部 中央図書館	— —	— —	— —	48,848 2,607	49,296 2,607	54	現状維持 で実施

② スポーツ・レクリエーション活動の支援									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度の総評価	令和3年度の実施方向性
			事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23200101	体育施設耐震診断事業 (平成29年度をもって完了)	教育総務部 スポーツ課	— —	8,964 468	— —	— —	— —	—	—
23200114	新郷スポーツセンター 耐震改修事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部 スポーツ課	18,105 574	166,646 546	795,199 553	— —	— —	—	—
23200122	オリンピック・パラリンピック 事前キャンプ地誘致等事業 (令和元年度をもって完了)	教育総務部 スポーツ課	— —	860 7,254	846 6,399	920 6,241	— —	—	—

単位施策名		② スポーツ・レクリエーション活動の支援							
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (決算額)	令和 2年度 の 総評価	令和 3年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23200132	オリンピック・パラリンピック 普及啓発事業	教育総務部	—	—	1,868	19,954	1,912	56	完了
		スポーツ課	—	—	1,027	2,291	237		
23200142	オリンピック・パラリンピック 強化指定選手激励金交付 事業	教育総務部	—	1,456	1,712	1,500	1,100	50	現状維持 で実施
		スポーツ課	—	546	553	632	632		
23200152	体育施設維持補修費	教育総務部	76,777	61,754	72,171	78,854	71,742	58	現状維持 で実施
		スポーツ課	1,886	1,794	1,580	2,212	8,295		
23200162	体育施設整備費	教育総務部	—	206,662	334,874	365,662	376,314	58	現状維持 で実施
		スポーツ課	—	624	1,185	2,765	2,765		
23200182	青木町公園総合運動場 陸上競技場耐震改修事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部	—	36,383	295,362	—	—	—	—
		スポーツ課	—	546	553	—	—		
23200201	青木町公園総合運動場庭球場 人工芝改修事業 (平成28年度をもって完了)	教育総務部	63,990	—	—	—	—	—	—
		スポーツ課	1,230	—	—	—	—		
23200224	芝スポーツセンター 耐震改修事業 (令和元年度をもって完了)	教育総務部	—	13,738	—	749,773	—	—	—
		スポーツ課	—	546	—	1,185	—		
23200242	東スポーツセンター 設備改修事業	教育総務部	—	128,277	50,910	100,715	138,780	58	現状維持 で実施
		スポーツ課	—	468	474	711	790		
23200264	西スポーツセンター 設備改修事業 (令和元年度をもって完了)	教育総務部	—	149,348	61,260	46,580	—	—	—
		スポーツ課	—	468	474	790	—		
23200281	青木町公園総合運動場 プール設備改修事業 (平成29年度をもって完了)	教育総務部	—	236,263	—	—	—	—	—
		スポーツ課	—	468	—	—	—		
23200301	流水プール施設運営費	経済部	39,609	39,954	40,042	52,924	37,533	38	縮小して実 施
		グリーンセンター	6,304	7,488	7,584	7,584	7,584		
23200401	スポーツ推進審議会 事業	教育総務部	193	186	172	150	154	48	現状維持 で実施
		スポーツ課	2,050	1,950	1,975	1,975	1,185		
23200501	中学校・高等学校運動 指導者派遣事業	教育総務部	1,577	1,720	1,787	1,499	759	50	現状維持 で実施
		スポーツ課	8,200	1,170	1,185	632	632		
23200601	各種体育大会開催事業	教育総務部	236	238	222	346	210	50	現状維持 で実施
		スポーツ課	8,200	2,886	2,528	2,765	2,923		
23200701	体育関係表彰事業	教育総務部	675	679	742	413	281	48	現状維持 で実施
		スポーツ課	8,200	5,850	5,925	2,765	2,765		
23200801	ソーデーマーチ 実行委員会交付金	教育総務部	1,700	1,700	2,700	1,700	283	48	現状維持 で実施
		スポーツ課	8,200	3,120	3,160	4,345	4,345		
23200901	学校体育協会事業	教育総務部	3,193	2,949	3,047	3,079	2,323	48	現状維持 で実施
		スポーツ課	8,200	5,382	5,451	4,740	5,293		
23201001	スポーツ協会事業	教育総務部	53,843	53,843	58,292	60,044	38,471	56	現状維持 で実施
		スポーツ課	8,200	1,950	1,975	1,975	2,370		
23201101	スポーツ推進委員 協議会事業	教育総務部	12,389	12,457	12,460	12,789	11,219	52	現状維持 で実施
		スポーツ課	8,200	5,616	5,609	5,530	5,135		
23201201	レクリエーション協会 事業	教育総務部	3,878	3,878	3,845	4,878	2,096	48	現状維持 で実施
		スポーツ課	8,200	3,666	3,634	4,740	4,898		
23201301	スポーツ少年団事業	教育総務部	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	46	現状維持 で実施
		スポーツ課	8,200	3,198	3,081	5,135	5,135		
23201401	スポーツ推進補助事業	教育総務部	15,602	15,606	15,408	15,754	13,023	48	現状維持 で実施
		スポーツ課	8,200	1,404	1,422	1,580	1,185		
23201501	青木町公園総合運動場・体育武道 センター指定管理者管理運営費	教育総務部	154,286	154,947	155,408	156,839	159,699	56	現状維持 で実施
		スポーツ課	2,050	1,794	1,817	1,896	2,054		

単位施策名 ② スポーツ・レクリエーション活動の支援									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (決算額)	令和 2年度 の 総評価	令和 3年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23201601	戸塚スポーツセンター 指定管理者管理運営費	教育総務部	134,796	134,986	135,669	137,150	148,473	58	現状維持 で実施
		スポーツ課	2,050	1,794	1,817	1,896	2,054		
23201701	施設予約システム事業 (平成28年度をもって完了)	教育総務部	13,662	—	—	—	—	—	—
		スポーツ課	2,050	—	—	—	—		
23201802	青木町公園総合運動場陸上 競技場第3種公認取得事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部	131,477	256,632	4,854	—	—	—	—
		スポーツ課	1,230	390	395	—	—		
23201901	スポーツ教室開催 事業費	教育総務部	1,158	903	924	1,068	1,171	54	現状維持 で実施
		スポーツ課	19,800	546	553	553	711		
23202001	オリンピック・パラリンピック 関連事業	市長室	—	—	—	—	307	56	現状維持 で実施
		政策審議室	—	—	—	—	23,700		
23202102	オリンピック・パラリンピック 機運醸成事業	教育総務部	—	—	—	—	896	56	現状維持 で実施
		スポーツ課	—	—	—	—	1,185		

単位施策名 ③ 文化芸術活動の支援									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (決算額)	令和 2年度 の 総評価	令和 3年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23300202	アートギャラリー 企画関係費	教育総務部	19,947	14,810	15,647	13,181	7,095	44	現状維持 で実施
		文化推進室	13,120	12,480	12,640	12,640	12,640		
23300212	伊奈半十郎忠治像建立事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部	1,588	6,140	1,442	—	—	—	—
		文化推進室	902	858	948	—	—		
23300301	総合文化センター 指定管理者管理運営費	市民生活部	484,014	476,370	503,500	502,612	622,114	58	現状維持 で実施
		自治振興課	1,476	1,170	1,343	1,343	1,817		
23300601	芸術賞賞賜事業	教育総務部	870	714	740	923	369	48	現状維持 で実施
		文化推進室	1,804	1,716	1,580	2,844	2,291		
23300702	文化振興交付事業	教育総務部	15,452	14,828	13,240	12,136	2,133	50	現状維持 で実施
		文化推進室	15,580	8,502	6,636	10,349	9,796		
23300722	美術館建設基本構想策定事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部	—	—	9,851	—	—	—	—
		文化推進室	—	—	2,844	—	—		
23300801	旧芝園中学校アトリエ利用事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部	250	300	324	—	—	—	—
		文化推進室	1,230	1,170	948	—	—		
23300811	特別展覧会事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部	—	—	8,594	—	—	—	—
		文化推進室	—	—	2,844	—	—		
23300901	文化団体補助事業	教育総務部	1,554	1,650	1,650	1,984	1,703	50	現状維持 で実施
		文化推進室	1,066	1,014	948	1,817	1,422		
23301101	若手芸術家派遣事業 (令和元年度をもって完了)	教育総務部	—	—	—	327	—	—	—
		文化推進室	—	—	—	1,738	—		
23301204	美術館建設等検討事業	教育総務部	—	—	9,851	9,268	1,374	52	現状維持 で実施
		文化推進室	—	—	2,844	3,555	2,844		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23100301	事業名称	社会教育活動運営事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	18121	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市非常勤の特別職職員報酬及び費用弁償に関する条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	社会教育関係委員 公民館運営審議会・生涯学習プラザ運営審議会・中央ふれあい館運営審議会	社会教育施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	社会教育の諸事業について、審議し、委員をとおして市民の意見を広く反映させるため。	社会教育関係委員会議・公民館運営審議会・生涯学習プラザ運営審議会・中央ふれあい館運営審議会を開催し、事業内容等を審議する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	社会教育関係委員会議・公民館運営審議会・生涯学習プラザ運営審議会・中央ふれあい館運営審議会を開催した。	項目	実績 単位
		社会教育委員会議	1 回
	公民館運営審議会等	36 回	
事業の成果【定性的評価】	社会教育の諸事業・施設運営について審議し、委員をとおして市民の意見を広く反映させることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	会議及び審議会の実施回数		指標・目標値の説明(算定式)	社会教育委員会議及び公民館等運営審議会の開催回数				
	単位	回	指標の種別		活動	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	36			36	36	36	36	36
	実績値・達成状況	37	達成	35	未達成	37	達成		
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	002細目	01細々目	社会教育活動運営事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	2,466	2,357		2,344		2,224		2,344		
決算額(B)=(C)+(D)	2,098	1,993		2,157						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,098		1,993		2,157		2,224		
概算人件費(E)	395		395		395		395		395	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,493		2,388		2,552		2,619		2,739	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	特になし。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23100901	事業名称	社会教育団体補助事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	18121	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 50 年度 ~ 令和 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、各種補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市PTA連合会 川口市婦人団体連絡協議会	川口市で教育を受ける子供 婦人団体活動に関わる市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	各団体の運営事業費の一部を助成し、団体活動の充実・進展を図るため。	補助金の交付		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	各団体の運営費のうち、会議費・研修費等、事業にかかる経費の一部を助成した。	項目	実績	単位
事業の成果【定性的評価】	講演会及び研修費等の主催事業等、各団体の活動内容が充実し、それぞれの活動目的の進展に寄与した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	005細目	02細々目	社会教育団体補助事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	1,145	1,145		1,145		1,145	1,145			
決算額(B)=(C)+(D)	1,145	1,145		1,102						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	1,145	1,145		1,102		1,145	1,145		
概算人件費(E)	158	158		158		158	158			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,303	1,303		1,260		1,303	1,303			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
46 /60	特になし。	3年度	現状維持で実施	
		4年度	現状維持で実施	
		5年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23101001	事業名称	公民館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	259-7655	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	社会教育法、川口市立公民館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公民館	公民館利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	住民への学習機会の提供と多くの人々の新たな交流の場の提供を目的としている。	社会の要請や個人の要望に応えることができるよう、現代的課題を中心とした多種多様な講座の実施や、生涯各期にあわせた事業を展開している。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	新型コロナウイルス感染予防対策をしながら、市民に施設の貸出及び講座を実施した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	市民の一般的教養が向上し、公民館活動を通じて地域の活性化に繋がった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間教室件数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績の積み上げから設定したもの。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況	830		830		830		830		830
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	02目	001細目	01細々目	公民館施設運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	103,516	103,680		91,034		111,883		112,420		
決算額(B)=(C)+(D)	99,301	94,932		69,436						
財源※	特定財源(C)	36,698		30,735		38,930		0		
	一般財源(D)	62,603		64,197		30,506		111,883		
概算人件費(E)	260,700		260,700		260,700		260,700		260,700	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	360,001		355,632		330,136		372,583		373,120	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	コロナ禍においても、幅広い年齢層の方が利用しており、市民の多様な学習ニーズはますます高度化しているため、事業内容の充実が求められている。このことから、感染症対策を講じつつ、魅力ある内容の事業を実施するよう努める。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23101101	事業名称	中央ふれあい館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	222-2798	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立中央ふれあい館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中央ふれあい館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の自発的学習を奨励助長し、知識の習得及び技術の向上を目指す。特に高齢者については交流の場作りとする。	学習内容にふさわしい施設の提供及び市民のニーズに応じた講座の開設	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	高齢者向けに健康増進と維持に関する講座を実施した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	川口駅に近いという利便性があり、また貸出し可能な部屋数も多いことから多数の方が利用したことで、市民の生涯学習活動の支援に寄与することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	271,566	達成	170,169	未達成	89,527	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	03目	001細目	01細々目	中央ふれあい館施設運営費					
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度							
予算額(A)	10,498	9,529	8,934	10,974	10,974							
決算額(B)=(C)+(D)	8,853	8,659	6,708									
財源※	特定財源(C)	8,853	8,659	6,601	0							
	一般財源(D)	0	0	107	10,974							
概算人件費(E)	31,410	31,385	31,385	31,385	31,385	31,385						
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.25	1.55	3.20	1.65	3.20	1.65	3.20	1.65	3.20	1.65
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	40,263	40,044	38,093	42,359	42,359							

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業の実施が難しい状況ではあるが、参加者の安全面を考慮し講座開催方法の検討・改善に努める。今後も施設の良好な維持管理に努め、地域の多様化するニーズを速やかに把握し、事業内容に反映できるよう検討することが肝要である。指標の実績値減少はコロナ関係で事業等を中止した為。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23101201	事業名称	生涯学習プラザ施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	253-1444	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 45 年度 ~ 令和 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立生涯学習プラザ設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	生涯学習プラザ利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民へ生涯にわたる学習の機会を提供し、市民相互の学び合い及び交流を促進することにより、生涯学習活動の振興を図るとともに、福祉の増進に寄与することを目的とする。	現代的・社会的課題への対応として、環境教育・消費者教育及び高齢者教育等の事業の実施の他に、子育て支援や趣味・教養の事業の充実を図る。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	子育てホッとサロン	項目	実績 単位
		子育てホッとサロン	5 回
事業の成果【定性的評価】	子育て支援講座の開催にあたり、新型コロナウイルス感染予防対策のガイドラインを作成し実施した。市民へ学習の機会を提供し、生涯学習活動の支援に寄与することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	30,609	達成	54,454	達成	28,732	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	04目	001細目	01細々目	生涯学習プラザ施設運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	2,699	3,401		3,306		3,379		3,379		
決算額(B)=(C)+(D)	2,483	3,059		1,578						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,483		3,059		1,578		3,379		
概算人件費(E)	31,100		19,500		19,500		19,500		19,500	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.00	2.00	2.00	1.00	2.00	1.00	2.00	1.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	33,583		22,559		21,078		22,879		22,879	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、計画していた主催事業の大部分が中止せざるを得なかった。今後については、事業を行う中で感染症予防対策をしっかりと行い、多様化するニーズの把握に努め、施設の特徴に応じた事業を実施する。また、施設の利用率が低下しないよう施設の維持管理に努める。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23101501	事業名称	図書館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	中央図書館	問い合わせ先	258-1110(#69-2986)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立図書館設置及び管理条例、川口市立図書館設置及び管理条例施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	全市民(施設利用者)	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	市民の知的自由を支え、知的欲求に応えるためのサービスを提供することで、生涯学習を支援することを目的とする。	生涯学習の重要な拠点施設として、質の高いサービスを提供し、生涯学習の充実を支援する。		
令和2年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防措置による休館、定例おはなし会の中止。 ・コロナ禍においても、十分な感染予防策の実施(開館時間短縮、閲覧席の縮小、手指消毒の徹底)によりサービスを継続。クリスマスおはなし会も実施した。 	項目	実績	単位
		開館日数	294	日
		おはなし会	8	回
移動図書館巡回回数	206	回		
事業の成果【定性的評価】	安全に配慮したサービス提供を行った活動結果として、入館者995,488人、移動図書館利用者3,466人の利用があった。成果として、個人の生活を豊かにし、社会の一員としての能力を高めるという生涯学習の充実へ寄与した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入館者数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館及び芝園分室の入館者数 目標値:平準的な開館日数である直近年度の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	1,774,491	未達成	1,608,239	未達成	995,488	未達成			
指標②	名称	おはなし会参加人数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:おはなし会、夏休みおはなし会、クリスマスおはなし会、わらべうたの会の参加者数 目標値:前年度の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	6,785	未達成	5,449	未達成	155	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	06目	002細目	01細々目	図書館施設運営費			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	436,503	494,210	513,948	528,204	513,948					
決算額(B)=(C)+(D)	431,851	488,417	509,684							
財源※	特定財源(C)	33,682	34,982	32,271	7,671					
	一般財源(D)	398,169	453,435	477,413	520,533					
概算人件費(E)	276,500	276,500	276,500	276,500	276,500					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	708,351	764,917	786,184	804,704	790,448					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	徹底した感染予防を行いつつ、引き続き、何度も利用したくなる企画展示の実施や利用啓発を行い、市民等の生涯学習の充実を支援する。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23101701	事業名称	科学展示施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	科学展示施設利用者、科学出張教室参加者、チャレンジサイエンス参加者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	参加体験型の展示物を有効に活用するとともに、各種事業を開催することにより、利用者の科学に対する興味関心を高める。	・実験ショー、科学体験教室、科学出張教室などの実施 ・展示解説・受付案内・各種事業補助のインストラクター業務の委託	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	科学の原理について学びながら体験することができる「サイエンスショー」、「わくわくワーク」、テーマのあるものづくり・実験・観察を行う「どきどきサイエンス」(インストラクターによる委託事業)、及び各種講座の開設、博学連携としての出張教室等を行った。	項目	実績 単位
		サイエンスショー参加者数	757 人
事業の成果【定性的評価】		わくわくワーク参加者数	3,817 人
		どきどきサイエンス参加者数	1,029 人
新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら実施回数、参加人数を制限して実施した。その中で、科学の原理原則を参加者が楽しみながら学べ、学校における学力向上の一環としても効果的に活用された。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	科学展示施設入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	科学展示施設入場者数 平成29年度の実績を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	79,475 達成	89,305 達成	27,825 未達成						
指標②	名称	館外事業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	9,791 達成	9,421 達成	3,332 未達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	09目	002細目	01細々目	科学展示施設運営費				
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度				
予算額(A)	41,643	41,631		42,396		42,635	42,635				
決算額(B)=(C)+(D)	41,443	41,575		42,049							
財源※	特定財源(C)	7,296	7,106		3,368		6,826				
	一般財源(D)	34,147	34,469		38,681		35,809				
概算人件費(E)	20,856	18,565		18,170		18,170	18,170				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.64	0.00	2.35	0.00	2.30	0.00	2.30	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	62,299		60,140		60,219		60,805	60,805			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
49 /60	コロナ禍における安心・安全を第1とした事業運営体制を整えながら、来館者が豊かな学びを得られるように事業の充実を図ることが必要である。開館から20年を迎えていくにあたり、経年劣化がみられる展示装置の改修事業を今後も計画的に進められるように要望すると共に、博学連携を始め専門性の高い事業運営に努める。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23101801	事業名称	天文台施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学館利用者、出張事業参加者、ホームページ閲覧者、関係機関	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	本物の天体を、実際に観測・体験することで深い興味と感動を覚え、科学的なものの見方や考え方を身につける。	夜間観測会、天文台ガイドツアー、太陽観測実習、特別観測会、太陽観測出張授業、夜間出張観望会を行うもの。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	ドーム内は場所が制限され密の状態を避けることが難しいため、観測会に替わる事業として観測画像を科学館ホームページへと配信する、夜間天体ライブ配信事業を新規に実施した。また感染症対策を行い学校等へ出張して行う夜間出張観望会、太陽観測出張授業を実施した。	項目	実績	単位
		夜間出張観望会	420	人
事業の成果【定性的評価】	新規に実施した夜間天体ライブ配信事業は好評で、科学館ホームページのライブ配信ページへのアクセス数も多く、また感染症拡大防止の観点からも利用者の場所や時間の制限が少なく、現在の状況下には適した事業となった。	太陽観測出張授業	682	人
		夜間天体ライブ配信事業	14,694	アクセス数

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	天文台公開参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	天文台利用者及び観測授業参加者数 定員及び平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績)を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値				1,268	1,290	1,312	1,334	1,357	
	実績値・達成状況	1,989	達成	2,154	達成	37	未達成			
指標②	名称	太陽観測出張授業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	太陽観測出張授業に参加した人数 定員及び平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績)を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値				1,276	1,298	1,320	1,342	1,365	
	実績値・達成状況	1,608	達成	730	未達成	682	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	09目	002細目	02細々目	天文台施設運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	751	852		680		674		674		
決算額(B)=(C)+(D)	732	808		474						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	732	808		474		674			
概算人件費(E)	11,613	12,561		12,561		12,561		12,561		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.47	0.00	1.59	0.00	1.59	0.00	1.59	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	12,345	13,369		13,035		13,235		13,235		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	現在外出が難しい小中学校から出張事業の要請が一定数あり、感染症対策に十分に配慮することで実施することができた。天文台ドームは密の状態の解消が物理的に難しい施設であるため、従来通りの利用方法は難しいが、新規に企画し代替として実施した夜間天体ライブ配信事業のように、別の利用の形を調査研究し、事業を企画していく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23101901	事業名称	プラネタリウム施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	プラネタリウム施設利用者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	天候や時間帯に左右されずに、星を観て、星の探し方・動きの規則性・法則などを効果的に学び、天文学の普及、科学全般に対する興味関心を高める。	一般投影、キッズアワー、学習投影、宇宙の教室、星空リラクゼーション、星空と朗読、天文講演会等を開催。また、番組制作や機器の保守等の特殊な作業の委託を行うもの。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	プラネタリウムドーム内で十分な感染症対策の取れる事業のみを実施した。小学生から大人まで対象の一般投影、希望する市内小中学校の理科の授業として学習投影、保育所向けの幼児投影などを実施した。新規事業として希望により小学校へ訪問し天文授業を行った。	項目	実績	単位
		一般投影観覧者数	9,332	人
学習投影観覧者数	2,670	人		
事業の成果【定性的評価】	いつでも星空を楽しむことが出来るプラネタリウムの特徴を活かし、自由な外出が難しい感染症対策の状況下でも、プラネタリウム観覧の機会提供に努めた。消毒、換気と言った感染症対策を十分に行い、安心して利用して頂くことができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	プラネタリウム観覧者数			指標・目標値の説明(算定式)	プラネタリウム観覧者数 平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績)を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	36,262	未達成	35,846	未達成	12,345	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	09目	002細目	03細々目	プラネタリウム施設運営費			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	16,822	17,309	13,540	16,629	16,629					
決算額(B)=(C)+(D)	16,821	17,287	13,412							
財源※	特定財源(C)	6,767	6,568	2,777	6,471					
	一般財源(D)	10,054	10,719	10,635	10,158					
概算人件費(E)	13,035	13,272	13,272	13,272	13,272					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.65	0.00	1.68	0.00	1.68	0.00	1.68	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	29,856	30,559	26,684	29,901	29,901					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	プラネタリウムドームの密閉性により実施事業を選定して行う必要があったが、日本プラネタリウム連絡協議会のガイドラインを参照し、しっかりとした感染症対策を行い実施した。事業の実施方法は専門職員のネットワークを活用し、他館や学会等の団体の情報を積極的に収集し、さらなる対策に反映させる。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23102001	事業名称	特別企画事業費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学展示施設利用者、市内中・高校生	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	一つのテーマを掘り下げる特別展を開催することで、通常の展示とは別の視点から科学に親しむ機会を提供する。また、中学生から高校生を対象とした専門性の高い講演会を開催し、参加した生徒が課題意識を持ち、生涯にわたり学ぶ力を身に付ける場を提供する。	館独自の企画立案による手作りの特別展のほか、関連団体からの人材派遣や展示物の借用、テーマに精通した業者への委託等を活用し、特別展などを開催。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	国立科学博物館等関係機関と連携して開催した期間展示「骨」、都市交通対策室及び関係企業との連携協力により開催した期間展示「自動運転のしくみ」、ものづくりを中心に科学にふれる機会となるサイエンスまつりを通じ、幅広い世代の学びが深まる事業を開催した。	項目	実績	単位
		期間展示入場者数	12,200	人
事業の成果【定性的評価】		サイエンスまつり入場者数	4,042	人
	コロナ禍における展示方法として、実物展示、SNSや動画の活用等、触れる以外の体験活動を重視した展示物から来館者に豊かな学びを提供できた。また、常設展示物では学ぶことのできない最新技術についても紹介することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特別展等入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	特別展等を見学した人数 平成29年度の実績を参考に設定					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況	29,905	30,413	30,930	31,456	31,991					
	実績値	28,322	未達成	31,960	達成	16,242	未達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	09目	002細目	04細々目	特別企画事業費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	11,386	6,983		857		7,026	7,026			
決算額(B)=(C)+(D)	9,285	6,983		680						
財源※	特定財源(C)	0		500		500				
	一般財源(D)	9,285		180		6,526				
概算人件費(E)	7,426		7,110		6,794		6,794		6,794	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.94	0.00	0.90	0.00	0.86	0.00	0.86	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	16,711		14,093		7,474		13,820		13,820	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
53 /60	利用者の関心が高いテーマの選定と、予算内で充実した特別展等を開催するためには、他館の情報収集や職員の研修などを十分にを行い、様々な機関と連携し事業を進めていく必要がある。また、新しい生活様式に沿った安心・安全な特別展開催の観点からも、展示方法や運営方法について柔軟に対応していく必要がある。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23102101	事業名称	映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	中央図書館	問い合わせ先 258-1110(#69-2986)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ~ 令和 5 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立映像・情報メディアセンター設置及び管理条例 他

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	映像・情報メディアセンターを管理運営する指定管理者	全市民(施設利用者)	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	多様な住民ニーズに広く対応するため、指定管理者による柔軟かつ総合的な施設運営及びメディアコンテンツを通じた事業等を行い、住民サービスの向上を図ることを目的とする。	映像・情報メディアセンター各種施設の利用提供及び指定管理者が費用等を負担して自らが企画する自主事業を実施する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・新型コロナウイルス感染症予防措置による休館、自主イベントの中止 ・十分な感染予防策の実施によりサービス業務を継続(開館時間及び貸館業務の縮小、手指消毒の徹底等) ・リモートワーク、読書・学習用「ワーキングスペース」をオープン	項目	実績 単位
		ワークショップ・イベント開催回数	175 回
		企画展示開催回数	469 回
事業の成果【定性的評価】	活動結果としてワークショップ・イベントに954人、企画展示に6,823人の参加があった。また、「ワーキングスペース」を10月よりオープンし、テレワークの支援と住民等のニーズに即したサービスを実施した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:メディアセンターに来館した人数 目標値:過去の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値						120,000	120,000		
	実績値・達成状況						116,016	未達成	29,957	未達成
指標②	名称	貸出施設利用件数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:各種スタジオ(貸館用)、ワーキングスペース(リモートワーク用)の利用件数 目標値:過去の実績を参考に決定				
	単位		指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値						3,300	3,300		
	実績値・達成状況						2,933	未達成	1,543	未達成

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	07目	001細目	01細々目	映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費					
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	—	48,849		49,297		49,297	49,297					
決算額(B)=(C)+(D)	—	48,848		49,296								
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0					
	一般財源(D)	48,848		49,296		49,297	49,297					
概算人件費(E)	—		2,607		2,607		2,765	2,765				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.33	0.00	0.33	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		51,455		51,903		52,062	52,062				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	課題は施設稼働率の向上及び、収益の増加を図ること。改善策として、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしっかりとった上で施設の知名度の向上を図り、魅力ある事業を実施する。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23200132	事業名称	オリンピック・パラリンピック普及啓発事業	事業区分	主要な事業 政策宣言29
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先 259-7657(18211)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 令和 2 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	旧国立競技場の炬火台	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	旧国立競技場の炬火台が、令和元年10月から令和2年3月まで本市への貸与が決定されたため、川口駅東口公共広場(キュポ・ラ広場)へ展示するための台座設置工事を行い、炬火台を設置し、多くの市民に披露するもの。	炬火台台座設置工事 炬火台設置記念式典 炬火台台座等撤去工事	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	炬火台台座等撤去工事	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	安全に撤去できた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	06細々目	オリンピック・パラリンピック普及啓発事業	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	1,869	21,940	2,970	—	—			
決算額(B)=(C)+(D)	1,868	19,954	1,912					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	—			
	一般財源(D)	1,868	19,954	1,912	—			
概算人件費(E)	1,027	2,291	237	—	—			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.13	0.00	0.29	0.00	0.03	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,895	22,245	2,149	—	—			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	令和2年度をもって事業を完了した。	3年度 完了 4年度 — 5年度 —

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23200142	事業名称	オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事業	事業区分	主要な事業 政策宣言29
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先 258-1110(18222)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	JOC強化指定選手又は、JOC加盟団体強化指定選手 JPC強化指定選手又は、JPC加盟団体強化指定選手 埼玉県「トップアスリート強化支援事業」強化指定選手 埼玉県「埼玉パラドリームアスリート」強化指定選手	同左のうち、市内在住者、市内在勤者、市内在学者、過去に市内に住居しかつ在学していた者。	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	オリンピック・パラリンピック強化指定選手に激励金を交付することにより大会出場に向けた競技力の向上を図るとともに、本市におけるスポーツ振興及びオリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成を図ることを目的とする。	オリンピック・パラリンピックに出場・活躍が期待される強化指定選手に対し、競技活動を奨励するため、各対象者に年度10万円を限度として激励金を交付するもの。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	オリンピック・パラリンピックに出場・活躍が期待される強化指定選手に対し、競技活動を奨励するため、各対象者に年度10万円を限度として激励金を交付した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	優秀な選手を称え、競技活動を支援するとともに、本市におけるスポーツ振興及びオリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成に良い影響を与えた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	07細々目	オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事業	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	2,000	2,000	2,500	2,000	2,000			
決算額(B)=(C)+(D)	1,712	1,500	1,100					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	1,712	1,500	1,100	2,000			
概算人件費(E)	553	632	632	632	632			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.07	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,265	2,132	1,732	2,632	2,632			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の事業継続について検討を必要とする。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23200152	事業名称	体育施設維持補修費	事業区分	主要な事業 政策宣言6
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	259-7657(18212)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 年度 ~ 令和 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	体育施設	施設利用者及び地域住民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	施設管理運営に必要な施設の維持補修を行う。	安全・安心に施設利用ができるよう、維持補修を図る。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
		老朽化した体育施設を維持するための修繕及び補修工事	項目	実績
				単位
事業の成果【定性的評価】	老朽化した体育施設を維持するための修繕及び補修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	02細々目	体育施設維持補修費			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	76,171	83,562	72,051	66,240	66,240					
決算額(B)=(C)+(D)	72,171	78,854	71,742							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	72,171	78,854	71,742	66,240					
概算人件費(E)	1,580	2,212	8,295	8,295	8,295					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.28	0.00	1.05	0.00	1.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	73,751	81,066	80,037	74,535	74,535					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	経年劣化が進んでいる中、施設を維持するための修繕及び補修工事を行う必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、施設の維持補修を行っていく必要がある。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23200162	事業名称	体育施設整備費	事業区分	主要な事業 政策宣言6・その他
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	259-7657(18212)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	体育施設	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設管理運営に必要な施設整備を行う。	安全・安心に施設利用ができるよう、より一層の施設整備を図る。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	老朽化した体育施設の改修及び補修工事	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	老朽化した体育施設の施設整備を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	03細々目	体育施設整備費	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	359,613	476,108	391,831	117,345	334,060			
決算額(B)=(C)+(D)	334,874	365,662	376,314					
財源※	特定財源(C)	0	33,900	107,000	38,800			
	一般財源(D)	334,874	331,762	269,314	78,545			
概算人件費(E)	1,185	2,765	2,765	2,765	2,765			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	336,059	368,427	379,079	120,110	336,825			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	経年劣化が進んでいる中、施設の設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に施設整備を行う必要がある。	3年度 現状維持で実施 4年度 拡充して実施 5年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23200242	事業名称	東スポーツセンター設備改修事業	事業区分	主要な事業 政策宣言6・その他
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	18213	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	令和	3	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	東スポーツセンター設備	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設開所から年数が経過し、設備の故障や老朽化も著しいため、利用者への安全性の確保及び利便性を向上させるもの。	老朽化により稼働停止や修繕を繰り返す不具合が生じているため設備改修を行うもの。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	東スポーツセンター南側外壁改修工事 東スポーツセンター北側外壁改修工事 東スポーツセンター体育館床板補修工事	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	老朽化した体育施設の改修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況			—		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	06細々目	東スポーツセンター設備改修事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	58,768	115,657		148,032		216,715	—			
決算額(B)=(C)+(D)	50,910	100,715		138,780						
財源※	特定財源(C)	0		0		182,700				
	一般財源(D)	50,910	100,715		138,780		34,015			
概算人件費(E)	474	711		790		790	—			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.06	0.00	0.09	0.00	0.10	0.00	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	51,384	101,426		139,570		217,505	—			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	経年劣化が進んでいる中、設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期の設備等の改修を行っていく必要がある。	3年度	現状維持で実施
		4年度	他事業に統合されて実施
		5年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23200301	事業名称	流水プール施設運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 54 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	レクリエーション施設である流水プール場(冬季はアイススケート場)を提供し、心身の健康増進に寄与する。	流水プール場及びアイススケート場の開場期間中における安全・安心な施設運営を行う。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	流水プール場及びアイススケート場の運営維持管理(委託)、機械設備等の点検・自主検査、開場に向けて施設の不具合箇所の修繕を実施した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、流水プール事業の休止、アイススケート事業は入場者制限を行い実施した。	項目	実績	単位
事業の成果【定性的評価】	安全・安心な施設運営ができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	流水プール場(夏季)とアイススケート場(冬季)の入場者数(過去10年間の平均入場者数) 令和2年度は、アイススケート場の入場者数(過去10年間の平均入場者数)とした。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	85,000	85,000	38,000						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	06目	003細目	01細々目	流水プール施設運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	40,762	54,072		38,112		36,853		36,853		
決算額(B)=(C)+(D)	40,042	52,924		37,533						
財源※	特定財源(C)	17,708	15,786		3,516		9,672			
	一般財源(D)	22,334	37,138		34,017		27,181			
概算人件費(E)	7,584	7,584		7,584		7,584		7,584		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.96	0.00	0.96	0.00	0.96	0.00	0.96	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	47,626	60,508		45,117		44,437		44,437		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	9 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	不明			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
38 /60	施設・設備の老朽化が顕著であり、活性化基本計画の結果を受け、流水プール事業の廃止が決まったことから、管理棟解体に向け、管理運営上必要最小限の修繕等を実施していく。	3年度 縮小して実施 4年度 他事業に統合されて実施 5年度 他事業に統合されて実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23200401	事業名称	スポーツ推進審議会事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	259-7657(18212)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市スポーツ推進審議会条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市スポーツ推進審議会委員	市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	スポーツの推進に関する事項について調査審議する。	年2回程度会議を開催。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	第1回川口市スポーツ推進審議会(令和2年7月30日) 第2回川口市スポーツ推進審議会(令和3年2月10日)(書面会議)	項目	実績	単位
事業の成果【定性的評価】	スポーツの推進に関する事項について調査審議することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	01細々目	スポーツ推進審議会事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	208	208		179		194		194		
決算額(B)=(C)+(D)	172	150		154						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	172		154		194		194		
概算人件費(E)	1,975		1,975		1,185		1,185		1,185	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,147		2,125		1,339		1,379		1,379	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	川口市のスポーツの推進及び振興のため調査・審議し、スポーツ行政に反映していく必要がある。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23200501	事業名称	中学校・高等学校運動指導者派遣事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先 258-1110(18221)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市立中学校・高等学校運動部活動指導者派遣事業実施要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中学校・高等学校の運動部	中学校・高等学校の運動部員	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	川口市立中学校・高等学校運動部活動の充実を図るために、教育に対する理解と専門的な技術指導力を備えた指導者を、地域住民の中から協力者として支援できるようにする。	指導者は、各学校の運動部活動における技術指導への協力と援助を行う。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指導者は各学校の運動部活動における技術指導への協力を行った。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	専門的な技術を備えた指導者を派遣することにより、市内中学校・高校の運動部活動の充実・活性化が図られた。また、指導を受けた生徒の部活動に対する意欲が高まり、競技力の向上が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指導者派遣数			指標・目標値の説明(算定式)	中学校・高等学校に派遣した指導者数 中学校26人、高等学校3人、計29人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	27 未達成	26 未達成	19 未達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	02細々目	中学校・高等学校運動指導者派遣事業			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	1,979	2,095	2,095	2,090	2,090					
決算額(B)=(C)+(D)	1,787	1,499	759							
財源※	特定財源(C)	447	178	0	0					
	一般財源(D)	1,340	1,321	759	2,090					
概算人件費(E)	1,185	632	632	632	632					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,972	2,131	1,391	2,722	2,722					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	運動部活動指導員(指導課)との住み分けや両事業の効果的な活用方法について、具体例を示すなど各学校が活用しやすい環境を整備する必要がある。学校、指導者のニーズを把握し、どちらにとっても活用しやすい事業として実施していく必要がある。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23200601	事業名称	各種体育大会開催事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先 258-1110(18222)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	各大会開催要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	各種体育大会	児童・生徒	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	児童・生徒の健全育成を目的に、スポーツ活動をとおして児童・生徒の心身の健康づくりと児童相互の親睦を図る。	少年少女スポーツ大会(柔道・剣道) 少年少女ふれあいなわとび大会 中学校駅伝競走大会	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・少年少女スポーツ大会(剣道) ・少年少女ふれあいなわとび大会(11月、3月の2回開催) ・川口市中学校長距離記録会(中学校駅伝競走大会中止に伴う代替大会)	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	スポーツ大会を通じて技量の向上が図られるとともに、児童・生徒の体力の向上が図られた。また、大会に向けて練習に粘り強く取り組むなど、精神面の成長が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	少年少女ふれあいなわとび大会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	少年少女ふれあいなわとび大会参加者数 市内小学校52校×1校平均55人=5,720人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況	5,647 未達成		1,343 未達成		30,054 達成				
指標②	名称	少年少女スポーツ大会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	少年少女スポーツ大会参加者数 市内小学生対象の柔道クラブ7団体、剣道クラブ19団体 合計26団体×1団体約13人=338人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況	363 達成		354 達成		99 未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	03細々目	各種体育大会開催事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	223	463		470		465		465		
決算額(B)=(C)+(D)	222	346		210						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	222		346		210		465		
概算人件費(E)	2,528		2,765		2,923		2,765		2,923	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.32	0.00	0.35	0.00	0.37	0.00	0.37	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,750		3,111		3,133		3,230		3,388	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた事業実施について、参加人数や実施方法の見直しが必要。 施設規模に応じた大会方法の立案の検討。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23200701	事業名称	体育関係表彰事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(18221)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 43 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市体育表彰要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ活動において功労のあった者及び活躍した選手	受賞者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたりスポーツ活動において功労のあった者及び年間を通じて活躍した選手または団体に対し、市または教育委員会が表彰する。	川口市体育三賞授与式・会場借上げ・看板製作委託	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	川口市体育三賞授与式(令和3年1月22日:川口リリア音楽ホール)	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	多くの国際、国内大会が中止される中ではあったが、開催された大会において優秀な成績を収めたアスリートを表彰できた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	04細々目	体育関係表彰事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	807	432		578		601		601		
決算額(B)=(C)+(D)	742	413		281						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	742		281		601				
概算人件費(E)	5,925		2,765		2,765		2,765		2,765	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.75	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,667		3,178		3,046		3,366		3,366	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	多くの競技団体が全国大会を実施する中で、大会規模や参加者の参加資格などにより、真に表彰にふさわしい大会が精選する必要がある。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23200801	事業名称	ツデーマーチ実行委員会交付金	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先 258-1110(18222)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	ツデーマーチ実行委員会交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	ツデーマーチ実行委員会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	体力低下が社会問題となっていることから、交付することで、事業の推進を図る。	大会を企画運営し、市内及び市外からのウォーカーへのウォーキングの場を提供する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	令和3年9月18日、19日に第14回川口ツデーマーチを実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。感染拡大前の準備に関する会議は開催した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大会を中止した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	05細々目	ツデーマーチ実行委員会交付金			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	2,700	1,700	1,978	1,978	1,978					
決算額(B)=(C)+(D)	2,700	1,700	283							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	2,700	1,700	283	1,978					
概算人件費(E)	3,160	4,345	4,345	4,740	4,345					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.55	0.00	0.60	0.00	0.55	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	5,860	6,045	4,628	6,718	6,323					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	新型コロナウイルス感染症により、開催するにあたって様々な場面で密を避けることや人と人の接触機会を極力減らすなど、次回大会の実施に向けて運営方法の研究が必要である。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23200901	事業名称	学校体育協会事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(18221)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ基本法/学校体育奨励交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市学校体育協会	市立小・中・高等学校の児童、生徒	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市立小・中・高等学校教育の一環として、児童・生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身とも健康な児童・生徒を育成するとともに、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。	・小、中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上競技大会 ・小・中学校体育授業研究協議会 ・学校総合体育大会 ・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会 ・小学校地区陸上大会 ・体育実技伝達講習会の一部を助成する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・川口市中学校体育大会(市民体育祭(中学校の部)中止に伴う代替大会) ・小学校体育授業研究協議会 ・中学校体育授業研究協議会の一部を助成した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	・中学校体育大会の開催により、他校の選手と競い合うことで競技力の向上が図られた。 ・指導者の資質・向上を図ることで、児童・生徒のスポーツに親しむ資質・能力の向上が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	01細々目	学校体育協会事業			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	3,360	3,360	3,420	3,379	3,379					
決算額(B)=(C)+(D)	3,047	3,079	2,323							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	3,047	3,079	2,323	3,379					
概算人件費(E)	5,451	4,740	5,293	5,293	5,293					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.69	0.00	0.60	0.00	0.67	0.00	0.67	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,498	7,819	7,616	8,672	8,672					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	コロナ禍における大会期間や実施方法、児童・生徒の参加体制など改善する必要がある。大会運営を行う教員の負担軽減策の立案。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23201001	事業名称	スポーツ協会事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	259-7658(18221)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 63 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ協会事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	(公財)川口市スポーツ協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	スポーツの功績を表彰し榮譽を讃え、活力と向上精神を刺激し、スポーツの普及発展につなげ、また、川口市のスポーツ情勢を幅広く市民に周知し情報を提供することにより市民のスポーツ参加を促し、スポーツの意識向上を図ることが目的である。	スポーツ教室及び各種スポーツ事業等の実施や、スポーツに関する講演会の実施などで人材育成を行い、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰などでより一層の活気を見だし更には、広報誌の発刊及びその他の広報活動でスポーツの普及を行っている事業の一部を助成する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	スポーツ教室及び各種スポーツ事業等の実施や、スポーツに関する講演会の実施などで人材育成を行い、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰などでより一層の活気を見だし更には、広報誌の発刊及びその他の広報活動でスポーツの普及を行っている事業の一部を助成した。	項目	実績
事業の成果【定性的評価】	スポーツ競技力の向上やスポーツへの取組み意欲の向上が市民の活気ある生活への後押しとなり、更にスポーツ表彰により、一層のスポーツに対する活力と向上精神を刺激するものであり、スポーツの普及発展につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	02細々目	スポーツ協会事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	58,293	60,044		61,222		61,222	61,222			
決算額(B)=(C)+(D)	58,292	60,044		38,471						
財源※	特定財源(C)	0	0		0		0			
	一般財源(D)	58,292	60,044		38,471		61,222			
概算人件費(E)	1,975	1,975		2,370		2,370	2,370			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	60,267	62,019		40,841		63,592	63,592			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	市民スポーツの普及促進について、スポーツ教室、表彰等は大変重要であり、継続的に行う必要がある。今後においても、スポーツ教室、表彰体系、広報の方法等について更に検討をするもの。また、コロナ禍における各種事業の開催方法について検討していく必要がある。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23201101	事業名称	スポーツ推進委員協議会事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先 259-7658(18221)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ基本法第32条2項(スポーツ振興法改正 平成23年8月24日施行) / スポーツ推進委員協議会事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進委員協議会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	ニュースポーツを広めるなど、スポーツ全般的な推進につながるよう交付を行っているもの。	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行うもの。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行った。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の大会やイベントが中止となったが、各種会議を通して、新しい生活様式における市民スポーツの推進について研究した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	常任理事会開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	年間の事業に関する話し合いや、活動の報告を通じて、協議会の事業を向上させるための会議である。他の事業の兼ね合いから、年間5回の開催が妥当である。				
	単位	回(数)	指標の種別	活動						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	5	達成	4	未達成	2	未達成			
指標②	名称	スポーツ推進委員数			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	人(数)	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	298	未達成	296	未達成	296	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	03細々目	スポーツ推進委員協議会事業					
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	13,016	13,945		12,842		12,712	12,712					
決算額(B)=(C)+(D)	12,460	12,789		11,219								
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0					
	一般財源(D)	12,460	12,789		11,219		12,712	12,712				
概算人件費(E)	5,609	5,530		5,135		4,740	5,135					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.71	0.00	0.70	0.00	0.65	0.00	0.60	0.00	0.65	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	18,069		18,319		16,354		17,452	17,847				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	スポーツ推進委員の活動は、地区ごとの特色が強く、統一的な活動状況の確保は困難である。しかしながら、今後において各地区間の情報交換を図るとともに委員の質を高め、様々なニーズに対応しながら事業を継続的に行っていく必要がある。また、コロナ禍における大会等事業の実施方法について検討していく必要がある。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23201201	事業名称	レクリエーション協会事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(18222)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	レクリエーション協会事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市レクリエーション協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	レクリエーション協会として事業を行うことにより、市民の健康増進と体力向上に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> 少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会 市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・小中学校) 市民レクリエーション祭 各種大会沿道警備 各種会議、表彰 の一部を助成する。 	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	<ul style="list-style-type: none"> 各種会議(書面決議による総会、理事会、役員会) 表彰の一部を助成した。 	項目	実績
事業の成果【定性的評価】	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種大会等が中止になったが、会議を通して来年度以降の大会実施方法が協議された。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	04細々目	レクリエーション協会事業			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	3,845	4,878	3,878	3,878	3,845					
決算額(B)=(C)+(D)	3,845	4,878	2,096							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	3,845	4,878	2,096	3,878					
概算人件費(E)	3,634	4,740	4,898	4,898	4,898					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.46	0.00	0.60	0.00	0.62	0.00	0.62	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,479	9,618	6,994	8,776	8,743					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	市民ニーズがますます増大することが考えられることから、多くの方が参加し楽しめる事業についてさらに調査研究が必要である。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、事業実施に向けての運営方法の研究が必要である。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23201301	事業名称	スポーツ少年団事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(18221)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ少年団事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ少年団	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	発育発達途上にある少年少女を対象に、心と身体の健全育成とスポーツ活動を通じて立派な社会人に育てることを目的とした事業であるため、支援が必要である。	大会・・・スーパードッジボール大会、駅伝大会 講習会・・・救命講習会 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等 会議費・・・総会、本部員会議、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費の一部を助成する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	講習会・・・救命講習会 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等 会議費・・・総会、本部員会、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費の一部を助成した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種大会が中止になったが、実施した救命講習会や各種会議を通して指導者・保護者の資質向上が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	05細々目	スポーツ少年団事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	1,200	1,200		1,200		1,200	1,200			
決算額(B)=(C)+(D)	1,200	1,200		1,200						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	1,200	1,200		1,200		1,200	1,200		
概算人件費(E)	3,081	5,135		5,135		5,135	5,135			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.39	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,281	6,335		6,335		6,335	6,335			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 /60	スポーツ少年団の活動は競技スポーツばかりでなく、発育発達段階を考慮したスポーツ活動のほか、学習活動・レクリエーション活動・社会活動・文化活動など、幅広く捉えているということに関係者によく理解してもらう。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23201401	事業名称	スポーツ推進補助事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(18222)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	社会体育奨励交付金交付要綱/県代表選手派遣交付金交付基準/川口市スポーツ・レクリエーション傷害見舞金に関する規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) ・公民館地区レクリエーション協会(33団体)市在住在勤の方 ・全国大会等の派遣選手(団体または個人) ・スポーツやレクリエーション活動中に傷害を受けた市内に住所を有する方及び在勤・在学の方	受益者(最終的に受益を受ける人)	
事業の概要	事業の目的(何のために) 市民のスポーツ活動、生涯スポーツ活動、競技スポーツ活動の普及を図り、活動する市民へ負担を軽減するため支援するもの。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ・各公民館地区におけるスポーツ事業実施のための交付金 ・全国大会等に出場する選手に対するの派遣交付金 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・各公民館地区におけるスポーツ事業実施のための交付金 ・全国大会等に出場する選手に対するの派遣交付金 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	主な実績	
事業の成果【定性的評価】	地域の大会等でスポーツを通じた地域コミュニティの活性化が図られた。県を代表して出場する選手の経費負担が図られた。スポーツレクリエーション等に安心して参加してもらうことができた。	項目	実績 単位

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	06細々目	スポーツ推進補助事業	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	15,927	15,927	15,927	15,927	15,927			
決算額(B)=(C)+(D)	15,408	15,754	13,023					
財源※								
特定財源(C)	0	0	0	0				
一般財源(D)	15,408	15,754	13,023	15,927				
概算人件費(E)	1,422	1,580	1,185	1,185	1,185			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.18	0.00	0.20	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	16,830	17,334	14,208	17,112	17,112			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	今年度は新型コロナウイルス感染症対策により多くの大会が中止のため、全国大会等に出場する選手に対するの派遣交付額は少額であるが、これまで対象となる出場選手が増えていることから予算の増額を検討する必要がある。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23201501	事業名称	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先 259-7657(18212)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	青木町公園総合運動場・体育武道センターを運営する事業者	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	専門性の高い競技施設として機能し、県・関東・全国規模の大会会場として使用しており、各競技団体等との連携を図りながら円滑な施設運営を行い、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。	専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指定管理者制度を活用し、(公財)川口市スポーツ協会に施設全般の管理運営業務等を委託した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	川口市のスポーツ拠点施設としての運営ができることや、専門的分野の技術力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度実績の1.91%増とした。			
	単位	人	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値				440,483	480,190	489,361		
	実績値・達成状況				471,191	達成 448,662	未達成 261,279	未達成	
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	04細々目	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費					
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	155,408	156,839		159,699		160,715	160,715					
決算額(B)=(C)+(D)	155,408	156,839		159,699								
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0					
	一般財源(D)	155,408	156,839		159,699		160,715	160,715				
概算人件費(E)	1,817	1,896		2,054		2,449	2,449					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.23	0.00	0.24	0.00	0.26	0.00	0.31	0.00	0.31	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	157,225	158,735		161,753		163,164	163,164					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	青木町公園総合運動場は、公園内の施設であり、公園所管課との管理区分に不明確な部分が存在する。公園所管課と管理区分について整理していく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23201601	事業名称	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先 259-7657(18212)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	戸塚スポーツセンターを運営する事業者	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	民間ノウハウを活用し、質の高いサービスを提供をすともコスト削減を図り、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。	専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指定管理者制度を活用し、コナミスポーツ・日環サービスグループに施設全般の管理運営業務等を委託した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	川口市のスポーツ拠点施設として運営ができることや、専門的分野の技術力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用人数			指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度実績の1.91%増とした。				
	単位	人	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況	510,241		514,957		524,792				
	実績値・達成状況	505,306	未達成	462,146	未達成	219,668	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	05細々目	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	135,669	137,150		148,474		140,406		140,406		
決算額(B)=(C)+(D)	135,669	137,150		148,473						
財源※	特定財源(C)	0		8,900		0				
	一般財源(D)	135,669	137,150		139,573		140,406			
概算人件費(E)	1,817		1,896		2,054		2,449		2,449	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.23	0.00	0.24	0.00	0.26	0.00	0.31	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	137,486		139,046		150,527		142,855		142,855	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	開所から10年以上が経過し、設備や備品の故障が相次いでいる。施設管理者と情報共有を密にし、計画的に改善、更新を行なっていく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23201901	事業名称	スポーツ教室開催事業費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	259-7658(18221)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 45 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市スポーツ教室等開催要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ教室	スポーツ教室受講者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	教室を開催することで、初心者の方や向上心のある方が気軽にスポーツに参加でき、更にはスポーツの楽しさを知ってもらうことや、心身の成長に貢献することが目的である。	ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・熟年者健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催するもの。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・熟年者健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	教室においては、主に30歳代から70歳代まで幅広い年齢層の参加により開催することができ、スポーツの楽しさや、世代間交流及び健康増進への意欲向上につなげるなど、市民のスポーツ振興に貢献することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	教室開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	施設を活かしたスポーツ教室を開催するものであり、予算の編成時にその情勢を鑑みて設定しているものである。(実績回数/開催回数(目標回数))				
	単位	教室	指標の種別	活動		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	11		12	13	12				
	実績値・達成状況	10	未達成	12	達成	13	達成			
指標②	名称	教室参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	スポーツ教室の「実績回数/開催回数(目標回数)」				
	単位	人(数)	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	1,840		2,140	2,080	2,140				
	実績値・達成状況	1,320	未達成	1,325	未達成	1,037	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	002細目	01細々目	スポーツ教室開催事業費				
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度				
予算額(A)	1,007	1,209		1,303		1,189	1,303				
決算額(B)=(C)+(D)	924	1,068		1,171							
財源※	特定財源(C)	924	1,068		508		1,189				
	一般財源(D)	0	0		663		0				
概算人件費(E)	553	553		711		711	711				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.07	0.00	0.07	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,477	1,621		1,882		1,900	2,014				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	各スポーツ施設の状況により事業内容や実施件数が異なることから、今後も施設の特性を活かしながら開催について検討が必要である。また、コロナ禍における教室の開催方法についても引き続き調整を図る。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23202001	事業名称	オリンピック・パラリンピック関連事業	事業区分	通常事業
担当	市長室	政策審議室	問い合わせ先	048-252-0260	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 3 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託									
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民	受益者(最終的に受益を受ける人)	市民									
事業の概要	事業の目的(何のために) 東京2020競技大会の機運醸成を図るため、オリンピック聖火リレー等の運営を行う。また、事前キャンプ地として代表選手を受け入れることで、市内のスポーツの振興や競技力の向上を図る。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 東京2020オリンピック聖火リレー(出発式)及び機運醸成イベント等の実施。 事前キャンプ地として代表選手の受け入れ。										
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 東京2020競技大会が延期になったことに伴い、聖火リレーも延期となったが、機運の醸成を図るために、絵画コンクールの実施や、オリンピック聖火リレータッチ及び公式アートポスターの展示を実施。	主な実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絵画コンクール</td> <td>461</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>オリンピック聖火リレータッチ展示</td> <td>1,080</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	絵画コンクール	461	点	オリンピック聖火リレータッチ展示	1,080	人
項目	実績	単位										
絵画コンクール	461	点										
オリンピック聖火リレータッチ展示	1,080	人										
事業の成果【定性的評価】	東京2020競技大会が延期になり関心が低くなってしまっていたが、事業の実施により、多くの市民に参加を促し、東京2020競技大会への機運醸成を図るばかりでなく、市民のスポーツへの関心を高めることにも寄与した。											

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	東京2020オリンピック聖火リレー			指標・目標値の説明(算定式)	東京2020オリンピック聖火リレーの観覧者数(動画中継の視聴を除く)				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況			5,000	1,000	0				
指標②	名称	外国人選手団との交流者数			指標・目標値の説明(算定式)	事前キャンプ地として受け入れた外国選手団との交流者数				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況			100	20	0				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	2 款	1 項	12 目	1 細目	4 細々目	オリンピック・パラリンピック関連事業			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	—	—	644	67,013	—					
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	307	—	—					
財源※	特定財源(C)	—	—	0	24,736					
	一般財源(D)	—	—	307	42,277					
概算人件費(E)	—	—	23,700	23,700	—					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	3.00	0.00	3.00	0.00	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	24,007	90,713	—					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	受益者なし	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	受益者なし	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	新型コロナウイルス感染症の状況により、事業の内容及び実施方法などに大きな影響があるため、情勢の変化の把握に努めながら、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会や埼玉県聖火リレー実行委員会等の関連機関との連携に努める。	3年度	現状維持で実施
		4年度	完了
		5年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23202102	事業名称	オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	事業区分	主要な事業 政策宣言29
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先 259-7657(18212)	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 3 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成イベントを開催するもの。	オリンピック・パラリンピック競技大会への関心を高め、機運醸成を図る機会として、多くの市民が参加できるようなイベントを大会開催前に開催するもの。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	令和2年度機運醸成イベントとして、「チャレンジ!2020絵画コンクール」の入賞作品展示や「川口市オリンピック・パラリンピック機運醸成への取組」の放映を行った。(令和3年3月6日から令和3年3月12日)	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	オリンピック・パラリンピック競技を身近に感じてもらうことができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	機運醸成イベント			指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	回	指標の種別	結果		
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況			1	1	
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)	
	単位					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	07細々目	オリンピック・パラリンピック機運醸成事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	—	—		968		968	—			
決算額(B)=(C)+(D)	—	—		896						
財源※	特定財源(C)	—		0		0	—			
	一般財源(D)	—		896		968	—			
概算人件費(E)		—		1,185		1,185	—			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.15	0.00	0.15	0.00	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		—		2,081		2,153		—	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会自体の開催が中止となる可能性がある。	3年度	現状維持で実施
		4年度	完了
		5年度	—

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23300202	事業名称	アートギャラリー企画関係費			事業区分	主要な事業 政策宣言14
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	253-0222	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民の美術に対する意識の高揚を図るとともに、企画展を通じてアートへの関心を高め、美術の鑑賞・創作活動の場を提供し、もって芸術文化の発展に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会、講演会、講習会、ワークショップに伴う企画・運営・広報 ・展覧会実施に伴う展示制作 ・展覧会会場の管理・運営 		
令和2年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自主企画展覧会を3事業、98日実施した。 ・ワークショップを2事業、3日実施した。 ・実技講座・鑑賞講座・アートさんぽを3事業、6日実施した。 ・企画展関連イベントを2事業、2日実施した。 	項目	実績	単位
		第9回新鋭作家展(ざらざらの実話)	798	人
事業の成果 【定性的評価】	基幹事業のアーティスト・イン・スクールは中止となったが、感染防止対策を徹底し開催した他の企画展やワークショップ等では市民のアートに対する興味を喚起することができた。	アートな年賀状展2021	1,063	人
		ワークショップ成果展示	72	人

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自主企画事業の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比0.5%増を目指す。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	9,519	9,453	11,888	3,938	3,958				
	9,406	未達成	11,829	達成	3,918	未達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	001細目	02細々目	アートギャラリー企画関係費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	17,398	14,723		8,616		11,942		12,442		
決算額(B)=(C)+(D)	15,647	13,181		7,095						
財源※	特定財源(C)	314		298		148		170		
	一般財源(D)	15,333		12,883		6,947		11,772		
概算人件費(E)	12,640		12,640		12,640		12,640		12,640	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	28,287		25,821		19,735		24,582		25,082	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	7 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	低かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
44 /60	緊急事態宣言発令による外出自粛など新型コロナウイルス感染症拡大の影響により来館者数は激減した。今後も展覧会開催時には徹底した感染症対策を実施すると共に、現行の来館による観覧以外にオンラインでの美術の鑑賞・創作活動の提供など新たな方法・手段を調査研究していく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23300301	事業名称	総合文化センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	自治振興課	問い合わせ先	258-1110(#33-5311)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	総合文化センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	公益財団法人川口総合文化センター	施設利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	川口総合文化センターの施設管理及び運営	<ul style="list-style-type: none"> 川口総合文化センターの施設管理 地域に対する文化芸術の振興 		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 指定管理制度のもと、公益財団法人川口総合文化センターに管理運営を委託した。	主な実績		
		項目	実績	単位
事業の成果【定性的評価】	事故等の問題なく運営ができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	22目	001細目	01細々目	総合文化センター指定管理者管理運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	503,500	502,612		622,114		519,600		519,600		
決算額(B)=(C)+(D)	503,500	502,612		622,114						
財源※	特定財源(C)	64,555	65,226	66,211	66,494					
	一般財源(D)	438,945	437,386	555,903	453,106					
概算人件費(E)	1,343	1,343		1,817		1,817		1,817		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.17	0.00	0.17	0.00	0.23	0.00	0.23	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	504,843	503,955		623,931		521,417		521,417		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	なし	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23300601	事業名称	芸術賞賞賜事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	#76-2113	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 62 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画、各種表彰規程

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化芸術に携わる市民全般	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたり本市の文化・芸術振興に貢献した方の功労を顕彰し、将来を嘱望される方の奨励を行うことにより、市民文化の向上・発展に寄与するものである。	市民文化の向上・発展に貢献された方を対象とする「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」、青少年を対象とした「青少年文化活動奨励賞」の表彰を行うもので、被表彰者を公募、選考会議における候補者の選考を経て市長が決定し表彰を行う。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・11月9日市長公室にて川口市文化三賞表彰式を実施。「川口市文化賞」「川口市芸術功労賞」「川口市芸術奨励賞」を授与。 ・11月11日分庁舎会議室にて川口市青少年文化活動奨励賞表彰式を実施。「川口市青少年文化活動奨励賞」を授与。	項目	実績
事業の成果【定性的評価】	・受賞者の文化芸術に関する功績や活動の業績を顕彰することにより、本市の文化力の向上を喚起する推進力へと繋がった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	表彰式入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年の入場者数(200人)×1.1(前年比10%増)					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況	286	達成	200	未達成	20	未達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	03細々目	芸術賞賞賜事業			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	1,035	1,234	1,172	1,238	1,238					
決算額(B)=(C)+(D)	740	923	369							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	740	923	369	1,238					
概算人件費(E)	1,580	2,844	2,291	2,291	2,291					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.36	0.00	0.29	0.00	0.29	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,320	3,767	2,660	3,529	3,529					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、表彰式は各賞の授与のみとし、受賞者限定で実施した。今後も様々なリスク対策をとりながら、表彰式を行える体制を整えていく。また、表彰により一層活動が広がり盛んになると考えることから、積極的に受賞候補者を推薦してもらうよう働きかけていく。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23300702	事業名称	文化振興交付事業	事業区分	主要な事業 政策宣言14
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	258-1110(#76-2115)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 52 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化振興基金条例、各種交付要綱、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化芸術活動を行う個人や団体	文化芸術を享受する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の自主的な文化事業や創造的な文化芸術活動を積極的に支援することにより、文化芸術の振興を図り、市民の誰もが「ゆとりと潤い」を実感できる心豊かな市民生活の実現に役立てる。	市内の文化芸術活動を行う個人や団体を補助金の交付によって支援することにより、活動の継続・発展、ひいては市の文化力向上に寄与する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・市内で文化活動を行う個人・団体を対象に助成事業の公募を行い、選考を経て7件を採択。新型コロナウイルスの影響により4件が事業中止となり、3件へ助成金を交付。 ・初午太鼓コンクールへ交付金を交付。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	文化振興助成事業助成金交付3件、交付金交付1件。市民の自主的な文化事業や創造的な芸術活動を財政的に支援することにより、活動の継承に寄与し市民の文化芸術に参加、鑑賞する機会を提供した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化振興助成金の交付要望件数			指標・目標値の説明(算定式)	11(前年交付要望件数)+1件			
	単位	件	指標の種別	結果					
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	実績値・達成状況	11	未達成	9	未達成	7	未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位			指標の種別					
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	04細々目	文化振興交付事業				
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度				
予算額(A)	13,555	12,747		2,196		13,144	13,144				
決算額(B)=(C)+(D)	13,240	12,136		2,133							
財源※	特定財源(C)	1,824	1,647		837		2,248				
	一般財源(D)	11,416	10,489		1,296		10,896				
概算人件費(E)	6,636	10,349		9,796		9,796	9,796				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.84	0.00	1.31	0.00	1.24	0.00	1.24	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	19,876	22,485		11,929		22,940	22,940				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	7 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	川口市文化振興助成事業や、その他助成制度(国、県、財団等)について関係文化団体や個人へ広く周知することに注力し、財政面において支援していくことにより、その文化活動の継続と活性化の一助となることを目指す。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23300901	事業名称	文化団体補助事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	258-1110(#76-2115)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 50 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化団体連合会補助金交付要綱、川口市音楽協会補助金交付要綱、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市文化団体連合会、川口市音楽協会	文化団体の活動を体験する、鑑賞する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内における文化芸術活動を担う団体への支援を行うことを通し、各種文化活動の促進、市民文化の高揚を図る。	川口市文化団体連合会が行う文化活動の啓発等に関わる事業費や市民音楽協会加盟団体への活動支援のため、補助金を交付する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	川口市文化団体連合会、川口市音楽協会への補助金の交付	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	・補助金交付2団体 ・市民の自主的な文化芸術活動の振興と事業に携わる、人材の育成及び交流を図ることが出来た。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化団体連合会加盟団体数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の団体数の維持。				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況	122		121		117				
指標②	名称	川口市音楽協会加盟団体数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の団体数の維持。				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況	62 達成		79 達成		77 未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	003細目	01細々目	文化団体補助事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	1,650	2,356		2,300		1,900		1,900		
決算額(B)=(C)+(D)	1,650	1,984		1,703						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	1,650		1,984		1,703		1,900		
概算人件費(E)	948		1,817		1,422		1,422		1,422	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.12	0.00	0.23	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,598		3,801		3,125		3,322		3,322	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	団体活動を担う若い世代の獲得が課題となっているが、令和2年度は、川口市文化団体連合会のホームページ開設により、広く活動の周知が図られ、新たな文化団体の加入も期待できる。今後も引き続き、団体に対して情報提供や支援を行い、市内の文化芸術を担う団体の活動促進を図る。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	23301204	事業名称	美術館建設等検討事業		事業区分	主要な事業 政策宣言22
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	#76-2112	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画、川口市美術館建設基本構想・基本計画審議会条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	美術館	市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	中核市に相応しい文化の高揚を図り、心豊かな活力ある市民生活の実現に寄与することを目的とし、美術館建設に向けた検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画策定支援業務委託の実施。 美術館開設に向けての準備。 		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 川口市美術館建設基本計画(案)の作成 パブリックコメント(3月)の実施 	項目	実績	単位
事業の成果【定性的評価】	<ul style="list-style-type: none"> 川口市美術館建設基本計画(案)の作成、パブリックコメント(3月)の実施 建設用地の選定 基本設計に向けた設計与件、課題の整理 			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	07細々目	美術館建設等検討事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	10,508	11,972		7,819		8,019	8,019			
決算額(B)=(C)+(D)	9,851	9,268		1,374						
財源※	特定財源(C)	3		0		0				
	一般財源(D)	9,851	9,265		1,374		8,019			
概算人件費(E)	2,844	3,555		2,844		2,844	2,844			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.36	0.00	0.45	0.00	0.36	0.00	0.36	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	12,695	12,823		4,218		10,863	10,863			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	新型コロナウイルス感染症の影響によりパブリックコメントの実施時期が当初の予定より大幅に遅れ、年度内に基本計画の策定が出来なくなった。令和3年度にはパブリックコメントの意見を踏まえ、基本計画を策定し、美術館建設に向けた準備を進めていく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施